



互いに支え合い、生きる意味を実感できる社会づくりの実践を宣言します。

民主 小平 11月号
PRESS MINSHU

11月号

市議会レポート Vol.10



小平市議会議員

石毛航太郎

いしげこうたろう

◆ 9月 市議会報告 一般質問 ◆

◆誰でもトイレは誰にでも使いやすいトイレであるか

しょうがい者の介助者から、誰でもトイレという名称でありながら現状の「誰でもトイレ」の利用が困難に感じる方がいるとの声があり、しょうがいを持った方、妊婦、高齢者等の方々が使いやすいという誰でもトイレとするため質問しました。

質問要旨 大人でもおむつ替えが必要な人のために多目的シートを設置することは可能か

答弁要旨 既存のトイレの変更は難しいが、新たなトイレを設置する際には考慮してゆきたい

石毛航太郎の思い しょうがい者と家族にとってトイレの問題は大変深刻。行政が率先してバリア無くし、しょうがいがあっても自由に外出できるような環境づくりを目指します。

◆災害時の地域センターの活用について

市内20カ所ある地域センターは、大規模災害時には二次避難所として指定されていますが、地域センターごとに備蓄状況が大きく異なっています。災害時の地域センターの役割を明確にし、整備が必要という観点から質問しました。

質問要旨 地域センターに介護用品や衛生用品の備蓄について検討できないか

答弁要旨 原則、小・中学校とほぼ同様のものを備蓄しているが施設の大きさや構造上防災倉庫を設置していないセンターもある。今後二次避難場所に必要な備蓄について研究していきたい **二次避難所とは**・・・避難所は小中学校が主となるが、一人で行動することが困難な高齢者や障害者に対し医療や介護など特別なサービスを提供し生活を営む場所

災害伝言ダイヤル 171 を体験してみませんか? ~私も家族で体験してみました~

災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信がつながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。災害発生に備えて、ぜひ体験してみませんか?

- [1] 171をダイヤル
- [2] (録音) 1をダイヤル / (再生) 2をダイヤル
- [3] 連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤル
- [4] 案内に従い録音 / 再生

※体験利用ができる日は毎月1日、15日です。
※携帯電話番号は登録できません。

夏の清里で遊ぼう2012 ー福島の子どもと八ヶ岳山荘に行ってきましたー

福島の子ども達にのびのびと遊んでもらいたいという思いから、「福島の子どもたちをまねく小平の会」は昨年引き続き、今年も福島の子どもたちを招待し、小平市の所有している八ヶ岳山荘でサマーキャンプを実施しました。

私も昨年に引き続き参加しました。震災以後、今までどおりの生活を取り戻せていない家庭があることを考えた時、思いっきり遊ぶ子ども達の姿を見ることができてとてもうれしく思いました。

多くの方のご協力とご寄付によって実施することができましたこと御礼申し上げます。

